

学校名	本郷小学校	学年	1年
授業者氏名 佐野 登			
題材名 「はみがきのタイミングをみんなでかくにんしよう」			
主 眼<フォーマット> 〇〇について学んだ（or 体験した・調査した）子どもたちが（既習や経験）、〇〇に着目し（健康教育や食育との教科等横断的な学習に係わる見方・考え方）、〇〇することを通して（本時の中核的な学習活動）、〇〇する力（育成する資質・能力）を培うことができる。			
主 眼 新しく始まった小学校の生活を迎えた子ども達が、 一日の生活リズムを作るために、給食後の歯みがきをどのように進めていくのかを養護教諭の話を交えて確認することを通して、 給食後の歯みがきの習慣化をはかることができる。			
学習材 （本時、子どもに提供する最大の情報：実践家や専門家の話の要点・KYTのイラスト等） 養護教諭の話			
成 果 入学後の生活をつくる場面で、クラス全体の共通認識を作っていくことができた。			
課 題 入学して間もない段階なので、子ども達の様子を見ながら、適宜やり方のふり返りと検討を行う必要がある。			

学校名	本郷小学校	学年	2年
授業者氏名 辰野 亘			
題材名 「 はみがきのタイミングをみんなでかくにんしよう 」			
主 眼<フォーマット> 〇〇について学んだ（or 体験した・調査した）子どもたちが（既習や経験）、〇〇に着目し（健康教育や食育との教科等横断的な学習に係わる見方・考え方）、〇〇することを通して（本時の中核的な学習活動）、〇〇する力（育成する資質・能力）を培うことができる。			
主 眼 昨年度1年を通して学校生活のリズムを掴んできた子どもたちが、 歯みがきに取り組むタイミングと時間に着目し、 昨年度の様子をふり返りながらどの時間に取り組むべきか、どのようなやり方にしていくか話し合い、確認することを通して、 歯磨きを継続的に取り組んでいこうとする意識を高めることができる。			
学習材 （本時、子どもに提供する最大の情報：実践家や専門家の話の要点・KYTのイラスト等） 昨年度の自分たちの歯磨きの取り組み、ふり返りで出てきた友の言葉			
成 果 子どもだけでなく、教師も共に歯磨きをいつおこなっていくのか、どのようなやり方で行っていくのかを考えることで、クラス全体の共通認識を作っていくことができた。			
課 題 現在のやり方は、子どもたちに委ねている部分が多く確実に歯磨きをしているかどうかは教師からも子どもたち同士でも判断しにくい。何か歯磨きを行った成果が見えるものや定期的なふり返りを考えていく必要がある。			

学校名	本郷小学校	学年	3 学年
授業者氏名 守屋 久美			
題材名 「 クラスみんなで続けるために 」			
主 眼<フォーマット> 〇〇について学んだ (or 体験した・調査した) 子どもたちが (既習や経験)、〇〇に着目し (健康教育や食育との教科等横断的な学習に係わる見方・考え方)、〇〇することを通して (本時の中核的な学習活動)、〇〇する力 (育成する資質・能力) を培うことができる。			
主 眼 給食後の歯みがきを、音楽に合わせて続けてきた子どもたちが、 給食を食べ終わるのが遅くなってしまった日、実際には学級の半分の人しか磨いていないという状況を知り、学級みんなで続けて取り組むにはどうしたらよいか考えることを通して、 自分達の生活を見直したり改めて歯みがきの必要性を感じたりし、継続していく意識を高めることができる。			
学習材 (本時、子どもに提供する最大の情報：実践家や専門家の話の要点・KYT のイラスト等) 実際に歯みがきをした人数 35 人中 18 人			
成 果 「余裕をもって食べ終わるようにしよう」「そのためには給食の準備を協力して早く終える」「4人ずつ用意ができたなら、さっとエプロンをとって片づける」「4時間目が終わったらおしゃべりしてないですぐに準備に取りかかろう」など、自分達の給食の準備への取り組み方を見つめ直す機会となった。4・4ルールを合い言葉に、みんなで「イーハ歯みがき♪」の時間を生み出そうとする姿が見られる。			
課 題 それでも、給食の食べ終わりが遅くなってしまう児童については、どうしても歯みがきができないことがある。その場合は、清掃の後でもよいなど配慮も必要か。			

学校名	本郷小学校	学年	4 学年
授業者氏名 塩澤 佑樹			
題材名 歯磨きの習慣			
主 眼<フォーマット> 〇〇について学んだ（or 体験した・調査した）子どもたちが（既習や経験）、〇〇に着目し（健康教育や食育との教科等横断的な学習に係わる見方・考え方）、〇〇することを通して（本時の中核的な学習活動）、〇〇する力（育成する資質・能力）を培うことができる。			
主 眼 昨年度歯みがきの習慣を身に付けるために、給食中の自分達が決めた時間に「イーハー」を流して歯みがきに取り組んできた子どもたちが、実際にクラスでどれだけの人が磨けているのかに着目し、歯みがきが習慣付けられるようにするための改善案について話し合うことを通して、自分達の口腔内の健康に責任感を培うことができる。			
学習材 クラスの平日5日中の歯磨きの頻度			
成 果 ・ 歯磨きの習慣形成の課題を考える中で、食事の習慣についても見つめなおす機会となった。（噛む回数、おかわりの量、お話しする時間と食事をする時間のバランス等） ・ 個人の責任ではなく、クラス全体で改善していけることから始めようとする子どもたちの姿勢が見えた。			
課 題 ・ 食べ終わるのがゆっくりな子どもについての改善策は、今回出てこなかったため、また子どもたちとともに考える必要がある。 ・ 歯磨きが義務としてのイメージより、自分達にとって不可欠な習慣として子どもたちが認識できるような、今後の実践を考案する必要がある。			

学校名	本郷小学校	学年	5年
授業者氏名 横井 聡			
題材名 「学校生活の中で歯磨きの役割を考えよう」			
主 眼<フォーマット> 〇〇について学んだ（or 体験した・調査した）子どもたちが（既習や経験）、〇〇に着目し（健康教育や食育との教科等横断的な学習に係わる見方・考え方）、〇〇することを通して（本時の中核的な学習活動）、〇〇する力（育成する資質・能力）を培うことができる。			
主 眼 新学期を迎え、これまでの歯と口に関わる活動を振り返った子どもたちが、 4年生までに培ってきた歯みがきの習慣や意識を土台としながら、5年生での田んぼ学習など食に関わる学習とのつながりに着目し、 それらと歯と口の健康を自分事として捉え直素事を通して、主体的に実践しようとする態度を育てることができる。			
学習材 （本時、子どもに提供する最大の情報：実践家や専門家の話の要点・KYTのイラスト等） はみがきのうた「イ〜ハ〜」 歌：吉田山田			
成 果 ・改めて給食後の歯磨きの時間の取り方・歯磨きの取り組み方について意見を交わし合うことができた。 ・噛む回数や、食事の時間にも関心を寄せて、給食を進めることができています。 ・その他、国語の学習にて歯の漢字の成り立ちについて調る姿があり、子どもたちの中に歯と口に関わる事象に関心を寄せていることがうかがえる。			
課 題 ・これまでの習慣に慣れているため、活動が形式的になり、歯みがきの質や意識の継続に不安がある。総合的な学習の時間の田んぼ学習などを絡めながら、意欲的に健康教育を学ぼうとする態度を養いたい。			

学校名 本郷小学校	学年 6年
授業者氏名 清水 友貴子	
題材名 「学校生活の中で歯磨きの役割を考えよう」	
主 眼<フォーマット> ○○について学んだ（or 体験した・調査した）子どもたちが（既習や経験）、○○に着目し（健康教育や食育との教科等横断的な学習に係わる見方・考え方）、○○することを通して（本時の中核的な学習活動）、○○する力（育成する資質・能力）を培うことができる。	
主 眼 新年度になり昨年度までの給食の時間の使い方や歯みがきの取り組みについて振り返った子どもたちが、 今までのやり方だと時間もやり方もまちまちであり、このままでよいのかということに着目し、 歯みがきの習慣化を目指しつつ、昼休みも今まで通り確保するための取り組みについて話し合うことを通して、 目的を達成し時間をセルフプロデュースする力を培うことができる。	
学習材 （本時、子どもに提供する最大の情報：実践家や専門家の話の要点・KYTのイラスト等） はみがきのうた「イ～ハ～」 歌：吉田山田	
成 果 ・全員でやる時間と、音楽（長さ）を統一したので、クラス全員が集中して歯磨きに取り組める。 ・自分たちで時間ややり方を決めたことで、やらされている感でなく取り組むことができる。 ・歌に合わせておこなうと歯全体をすみずみまで磨くことができる。	
課 題 ・お昼休みが今までより短くなってしまう。 ・慣れによる歯みがきの質の低下。	